

Society for Serviceology

サービス学会のご案内

サービスは、価値の創造にかかわるプロセスであり、経済の主要活動としてはもちろん、生活の質の向上や持続可能な社会を構想・実現していくうえで欠かせない要素です。一方で、サービスをとりまく環境は常に変化しており、課題も山積しています。

たとえばサービス業では、近年の人口減少に伴う人材不足を背景に、新たな技術の導入による業務効率化・生産性向上が課題となっています。これまで暗黙知としてとらえられてきた様々なサービス提供技術の定義づけ・標準化によって、多様な働き手が持続的にスキルの向上をはかり、サービス品質を高めていけるような仕組みづくりが求められています。製造業においても、IoT化によって得られる様々なデータを活用した新たなサービス価値提案や、先進的通信インフラが生み出す多様な顧客チャネルを活用した製品開発方法など、多面的なイノベーションが期待されています。そして個人、企業、非営利、地域コミュニティ、行政など多様なステイクホルダーが未来のビジョンを共創し、自然環境等に配慮しながら自らのウェルビーイングに寄与するサービス、およびそれを実現するエコシステムをデザインしていくことも重要です。

サービス学会はこのような問題意識のもと、サービスを学問の対象としてとらえ、社会科学、人間科学、理工学、デザイン学といった様々な学術分野の協調、産業界と学術界の強い連携を目指してきました。

本学会は2012年10月1日に発起人196名の賛同を得て設立され、2019年現在、約400名の会員で運営しています。会員は学术界、産業界、ならびに理工系、人文社会系と、バランスよく構成されています。サービス科学・サービス工学の研究者、サービスの革新を目指す経営者、そして社会的な問題解決を探る行動者が一堂に会して議論できる場がサービス学会です。

サービスにかかわる様々な分野でご活躍の皆さまに、ぜひご入会いただきますようご案内申し上げます。



www.serviceology.org

サービス学会の活動

学会誌と英文誌の発行

学会誌「サービソロジー」

年間4巻刊行。サービソロジーでは、記事と論文を掲載しています。記事では、最新のサービス研究や事例をわかりやすく紹介する特集や、書籍紹介、会議報告、SIG報告などを掲載しています。論文では原著論文に加え、サービス現場における優れた実践から得られる新たな知見を社会に発信するものとして「実践論文」を、また萌芽的研究についてまとめたものなどを「研究ノート」として募集しています。会員には印刷物(年間4冊)が無料で配布されるほか、全記事の電子版(I-Stage)に発刊直後からアクセスできます。

英文誌「Journal of Serviceology」

Journal of Serviceologyでは、学術界にとってだけでなく、社会・経済にとっても価値の高い原著論文を掲載します。



国内大会と国際会議の開催

国内大会

- 年1回開催(2日間、発表件数約100件、参加者約180人)
- 特別講演、パネル、口頭発表、ポスター発表、Best Presentation Awardの表彰

過去の特別講演・企業講演(※講演者の所属、役職は開催当時のもの)

第5回国内大会(広島、2017年3月開催)
「スポーツレジャー産業を健康産業に発展させる」 斎藤敏一氏((株)ルネサンス 代表取締役)
「忠恕の経営」小嶋光信氏(両備ホールディングス(株) 代表取締役会長)
「共創を通じた社会課題の解決」橋谷直樹氏(日本電気(株) 執行役員)
第6回国内大会(東京、2018年3月開催)
「真の価値創造を目指して」 渡邊光一郎氏(第一生命ホールディングス(株) 代表取締役会長)
「Value Cocreation in Service Ecosystems: The Service-Dominant Logic View」 Stephen L. Vargo (University of Hawaii at Manoa)
第7回国内大会(東京、2019年3月開催)
「人口爆発の地球、少子人口減少の日本：持続可能な社会のために公共サービス、社会基盤の将来はどうあるべきか？」亀田信介氏(亀田総合病院 院長)
「モビリティカンパニーへの変革」伊藤敏弘氏(トヨタ自動車(株) BR中国生技室主査)

過去の受賞講演(★=ポスター発表、その他は口頭発表)

第5回国内大会(広島、2017年3月開催)
「Virtual Human-Sensing の提案」
「高齢化社会に向けた高齢者変革サービスモデルの提案」★
第6回国内大会(東京、2018年3月開催)
「自立支援介護を促進するインセンティブ型報酬制度の研究 ～理論モデルと数値シミュレーション」
「産業用ロボット/IoT事業のサービス化に向けたアクションリサーチ ーやまがたロボット研究会を事例としてー」
「サービス価値共創フレームワークとサービソロジー研究： あなたの研究は何処に位置付けられますか？」★
第7回国内大会(東京、2019年3月開催)
「企業の持続発展に影響を与える“企業らしさ”の追求とその活用に関する調査研究 ーサービス・ケイパビリティ観点からの企業・創業理念の位置づけと効用ー」
「宅配サービスにおける顧客の価値共創行動を減退させるサービスの失敗の分析」★

国際会議「International Conference on Serviceology (ICServ)」

- 年1回開催(2日間、発表件数約80件、参加者約130人)
- 基調講演、口頭発表、Best paper awardの表彰

過去の基調講演

ICServ2016(2016年9月、東京、芝浦工業大学、豊洲)
“Industrial Product-Service Systems Engineering”
“Human Centric Innovation and Digital Future”
“A Formalized Framework of Consumer’s Mental Pictures – with implications for brands, companies, countries, and destinations”
“Artificial Intelligence for Serviceology”
“Simulating service value”
ICServ2017(2017年7月、オーストリア、ウィーン大学、ウィーン)
“Co-creating a disruptive future”
“Building up trust with partners for value co-creation in service system”
ICSSI&ICServ2018(2018年11月、台湾、亞洲大学ほか、台中)
“Co-Creation for Success”
“The Artistry of Design: The Muse and the Therapist”
“Useful Uselessness - The Origin of a Creative Industry”
“Well-being of Manufacturers through IoT Service”
“ISO Standardization Activities on Services: Service Excellence, Healthcare services, Sharing economy”
“The Future of Software: Platform, Solutions & Services”



その他の活動

セミナー活動

サービス学は産業（実践）と学術（理論）との関係が複雑かつ重要な領域です。本セミナーでは、サービス学とその研究・実践活動に興味を持つ方への導入編となることを目指し、身近な事例を取り上げ、実践と理論とが対応する構成でご紹介します。

2018年度 第1回	サービス業における人材不足への対応と製造業のサービス化 (IoT) ◎Future Convenience Store Contest 首都大学東京 和田一義氏 ◎IoTが加速する製造業のサービス化 東京都立産業技術研究センター 根本 裕太郎氏 ほか
2018年度 第2回	接客サービスにおける人材育成とサービス品質の向上 ◎サービスエクセレンスに向けた人間工学の動向と関連規格 国立研究開発法人理化学研究所 福住伸一氏 ◎客室乗務員の接客スキルを科学し、人材育成に活かす：その研究手法と産学共創のかたち 東京大学 原辰徳氏 ほか
2017年度 第1回	ヒトの求める価値の理解と匠の技の可視化 ◎都市来訪者の多様性による真のニーズ把握の難しさ (株)日立製作所 中村俊之氏 ◎匠の技 暗黙知の形式知化 富士通(株) 岸本孝治氏 ほか
2017年度 第2回	製造・飲食分野におけるサービスの設計と生産とサービスの価値を多面的に評価するサービスベンチマーキング ◎労働集約型サービス産業の生産性の構造 がんこフードサービス(株) 新村猛氏 ◎サービスプロフィットチェーン経営の重要性 (株)MS&Consulting 渋谷行秀氏 ほか

過去のテーマ例

SIG活動

SIG (Special Interest Group) は、サービス学会員が特定の興味を持つ分野についてグループを作り、研究状況や実施事例などの情報交換を行う場です。

SIG活動 の例	◎Service Innovation and Design ◎サービス・ケイパビリティ ◎下廻上プロジェクト ◎実学としてのサービス科学・知識科学研究会
-------------	--

研修・セミナー

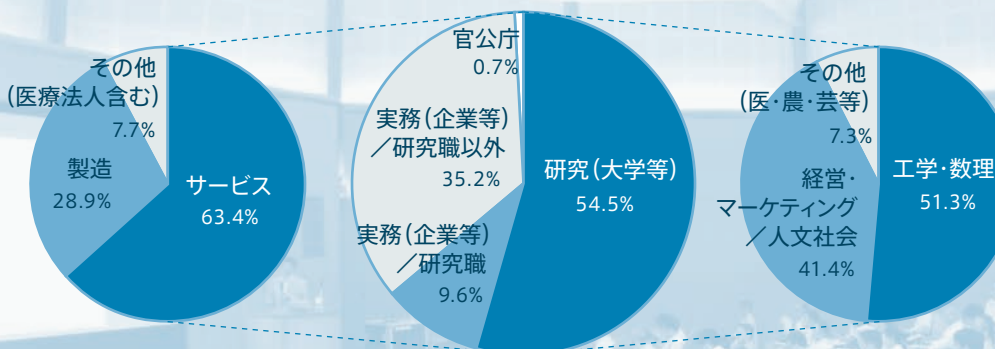
サービスに携わる実務者（サービス業、サービス化を進める製造業、新規サービスの開発など）を対象に、新しい手法や技術の動向について学べる研修・セミナーを企画します。サービス工学、マーケティング、マネジメントについて体系的に講習する一般研修のほか、より実践的な手法や技術を習得するためのスキルアップ講習、ワークショップ形式による公開型の研修・セミナーなど、専門家を講師に迎えて実施します。



会員の構成と学会活動への期待

学会員の構成

● 正会員数：404名、賛助会員数：15社、学生会員数：76名 ※1



サービス学会員の構成

※1) 2019年3月末時点

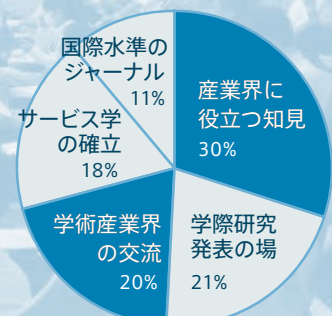
サービス学会は、サービスに携わる誰もが参画できるよう、学術と産業界、および人文社会系と工学数理系のバランスの取れた学会を目指します。

学会員の意識

学会員の多くは、サービス学会に対し、従来の学会が担ってきた学術的な役割だけでなく、「産業界に役立つ知見の発見と発表」および「学術産業界の交流」の役割を期待・意識しながら、活動に参画しています。

サービス学会に対する期待 ※2

※2) 第1回国内大会アンケートのうち、会員を対象にAHP (Analytic Hierarchy Process) を行って集計



サービス学会の組織

役員会

役職	氏名	所属
理事	会長	日高一義 東京工業大学
	副会長	山本昭二 関西学院大学
		原良憲 京都大学
	事務局担当	原辰徳 東京大学
	総務	竹中毅 (国研)産業技術総合研究所
		西野成昭 東京大学
	企画	佐藤美和子 日本電気(株)
		白肌邦生 北陸先端科学技術大学院大学
	財務	新村猛 がんこフードサービス(株)／立命館大学
		岡田幸彦 筑波大学
	出版	木見田康治 首都大学東京
		渡辺健太郎 (国研)産業技術総合研究所
	事業	岸本孝治 富士通(株)
		平井千秋 (株)日立製作所
		白坂成功 慶應義塾大学
	国際	鈴木智子 一橋大学
南知恵子 神戸大学		
藤井信忠 神戸大学		
監事	斎藤敏一 (株)ルネサンス	
	新井民夫 国際焼酎研究開発機構	
	西尾チヅル 筑波大学	
顧問	村上輝康 産業戦略研究所	

入会のお申し込みと特典

お申込方法

本学会へ入会を希望される方は、サービス学会Webサイト (<http://ja.serviceology.org>) の会員登録ページ (<http://ja.serviceology.org/application/>) からご登録ください。ご登録後に事務局から確認のメールが届きます。後日、理事会の承認をもって正式な会員としての登録が完了します。

※ 会員からの推薦は不要です。

会員種別	入会金	年会費	備考(定款より)
正会員	5,000円	10,000円	サービス学会の目的に賛同し、その活動に参加する個人
学生会員	5,000円	3,000円	大学生または大学院生もしくはそれに準ずる者であって、サービス学会の目的に賛同する個人
賛助会員	-	一口 50,000円 ※二口以上から	サービス学会の目的に賛同し、その活動を援助する個人または団体

入会特典

【会員共通】

- 学会誌 (年4巻) の配布
- 過去の国内大会講演集の無料ダウンロード権
- 学会が主催する研修・セミナーへの参加割引

【賛助会員のみ】

- 国内大会 (毎年開催) への無料参加 (2名まで)
- 国際会議への無料参加 (1名まで)
- 学会誌・論文誌などの企業広告掲載の優遇

お問い合わせ

入会・登録情報・会費等についてのお問い合わせ

サービス学会 会員管理事務局
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13
一般社団法人 学会支援機構内
Tel. 03-5981-6011
Fax. 03-5981-6012
Email serviceology@asas-mail.jp

その他のお問い合わせ

サービス学会 事務局
〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学大学院 工学系研究科 精密工学専攻内
Tel. 03-5841-7215
Email sec@serviceology.org
Website <http://ja.serviceology.org/>